

ルワンダコーヒー通信

アフリカ大陸中央に位置する小国ルワンダ。カップオブエクセレンスも開催され、今コーヒー界でも急成長して世界から注目を集めるルワンダコーヒーの魅力を余すところ無くご紹介します。

2016年7月発行

Vol.7



今年の収穫を振り返るフイエマウンテンコーヒー代表 デイビッドさん

ルワンダ農家インタビュー ～2016年度の収穫～

ルワンダコーヒーは収穫シーズンを終わりました！**気になるのは今年の収穫の出来**。ということで、実際に農園経営をしているフイエマウンテンコーヒー代表のデイビッドさんに今年の収穫について振り返ってもらいました。

「2016年の収穫でルワンダ全土で特徴的だったのは2点。収穫時期が通常より約1ヶ月後ろにズレたことと雨季が想定より短かったこと。ともに世界の気候変動に連動した関係だと言われていて、我々も初めは収量と品質を心配しましたが、短期間で収穫ロスを防ぐ為に昨年導入した加工マシンや乾燥場の整備が奏功して、**質・量ともに高まった素晴らしい年**になりました。カップング（以下詳細記述）の評価も軒並み向上しましたが、これは今年から始めた、細かく区分けしたエリア毎に農業技官の担当者を配置して品質を競い合うシステムが効率的に機能したためと考えています。**農家さんも各々のコーヒーの評価が高くなったことでよりモチベーションが上がり来年がまた楽しみです。**」

収穫されたコーヒーはしっかり質のチェック『カップング』へ



どのロットを購入するか見極めているカップパーの方々

皆さん、現在ルワンダでは収穫期が終わって、**各地から今年度の素晴らしいコーヒーが出揃う季節**になりました。コーヒーって**気候や環境によって味が変わる繊細な植物**なので、取り扱われる企業は、買付に直接足を運び、各地の今年のコーヒーの出来を評価しに訪問されることがしばしば。そうした評価をするセッションを「**カップング**」と呼びます。左の写真のように、ルワンダでも大きな輸出会社は独自に「**カップングラボ**」と呼ばれる、ロースターやカップングに必要な資材を揃えて、**いつでも品質に問題がないか確認できる体制を整えています**。1日に200杯以上チェックすることも！評価項目もたくさんあり、**厳密に評価された豆だけが飲まれる**んですね。



カップング評価シート例 (SCAA仕様)

コーヒーの美味しさの秘密



真っ赤に熟したコーヒーの実

皆さんは“**コーヒーの実**”を見たことありますか？実は左の写真にある**真っ赤に熟した“果実”の実**から作られるんです！果実であるコーヒーを美味しくするには以下の3つのポイントが重要と言われています。

① 日陰で栽培すること

コーヒーは日陰栽培に適していて、それにより光合成の効率を上げ、より多くの養分を蓄積できます。

② 実の熟度を上げること

熟す程、実の糖度が上がり、品質に良い効果をもたらします。ただし熟し過ぎには要注意。

③ 実に栄養をたっぷり送ること

養分を果実に集中させるためには余分な枝を切り落とす**剪定**（せんてい）という作業がとても重要です。

収穫後の大事な作業『剪定』

収穫後、農家さん達は来年良いコーヒーが採れるように、左記③の選定作業を行ないます。剪定には2種類あります。

① 衛生的剪定（要らない枝を除去する）



枝が生えすぎて藪のようになってしまった木が対象。根から吸収した**養分を不要な枝ではなくコーヒーチェリーに集中させ**、より美味しいコーヒーを作る為に行ないます。（また風通しを良くし、病気を予防する働きもあります）

② カットバック（古い幹を切る）



古くなって実の付きが悪くなってしまった幹を根元より少し上から切ると、写真のように切り株になってしましますが、**コーヒーノキの生命力は強く、2年ほどで再生して再び多く収穫出来るようになります**。

この2つの剪定を正しく行なう事で**ぎゅーっと栄養が詰まったコーヒーチェリーを収穫する事ができる**んですね！

ルワンダ
まめ知識



～ACE主催カップングセッション～

本年カップオブエクセレンスがなかったルワンダにおいて、8/22-26にかけてACE主催のカップングセッションが開催される見込みです。結果が楽しみな所です。

■編集者情報：セパール(Coffee Exporters and Processors Association of Rwanda) ルワンダの輸出業者とコーヒー加工業者の組合。肥料の分配や国内外の展示会でのルワンダコーヒーの紹介等を事業として行なっている。来日経験のあるピエール氏が代表を務めています。

■連絡先：rwanda.coffee.japan@gmail.com ■URL：www.ceparwanda.org